

儀の始めの会歌

応募 7,490 首

天皇御歌
 皇后宮御歌
 天のしげに雉子のあそぶわが庭に
 朝霜ふりて春なほ寒し
 春あさみ風はさゆれど日だまりに
 はやももえたり菊の若芽は
 義宮
 せせらぎをおほひし水とけゆきて石はしる水たきちそめたり
 秩父宮妃
 風いまだつめたき磯の岩むらに青海苔の香のかそけくにほふ
 高松宮
 春あさき磯子の海の海苔そだにのりよりうすき霞かかれり
 同 妃
 梅が香のただよふ春にはやなりて身ものびのびとするが楽しさ
 同 妃
 枯山のかげの日だまりひそやかに若草もゆる伊豆の初春
 三笠宮
 北の旅終へてかへれば我が庭に春の萌しはあらはれてをり
 同 妃
 せりの葉をゆりて流るる野川にも春のけはひの日さしきらめく



第73号

発行所
 愛知縣額田郡
 幸田町公民館
 印刷所
 岡崎活版所

選歌

(五十首順)

- 兵庫県 犬飼 篤子
○早春の峠の径は明るくてもろ木の芽吹くにはひただよふ
 - 滋賀県 岩佐栄次郎
○ひとつ窓よりさすかげ日日に暖かくなるを楽しく候編みつく
 - 石川県 金崎 権理
○唐島の沖辺にかきのたな組むと岸の竹積む春早くして
 - 北海道 菅野 信一
○春早きオホーツク海のはて白くまだ流水はただよひて見ゆ
 - 鹿児島県 小牧 静
○むな木組むつち音高く早春のうすらぐもりの峽にひびかふ
 - 米国加州 竹内 美枝
○早春の庭のつばきに向ひつつ帰化せんとする心寂しむ
 - 山梨県 田野口 清
○甲斐の空春きたるらむ動く雲動かむ雲も光ふふめり
 - 福井県 土肥 清蔵
○青みだつ島の麦畑向きかふる船の窓より近よるが見ゆ
 - 静岡県 萩田 盛亮
○山やきの火みちを伐りて村人らはやくも春の行事につどふ
 - 兵庫県 藤原 象二
○巢箱いでて遠くはとばぬみつばちの羽根きらめけり浅き春日に
 - 愛媛県 松岡多喜郎
○早春の光みなぎる野にいでて芽ぶきし桑のわら解きはなつ
 - 東京都 松村 らく
○うらうらと日はさしそへど武蔵野のけやきの林いまだ芽ぶかず
 - 岡山県 三宅 真平
○毛がりせしアンゴラうさぎさぐりみつついまだ寒けき春とぞおもふ
 - 印度国マ州 村越 文彦
○椰子が囲む田に冬稲は黄ばみたり梅ふふむころか遠きみちのく
 - 北海道 山口 昭三
○とどろきて氷の裂くるみづらみの空を覆ひてゴメ渡りきぬ
- 応募七千四百九十首 —

「ともしび」

来年の御題

昭和三十三年の歌会始めの御題は「ともしび」と定められた旨、十二日宮内庁から発表された。泳進の時期、方法などについては十月上旬頃発表されるが、ともしびはともす火に限らず、一般の灯火と解すると宮内庁ではいつている



あ、鈴木校長

昭和三十一年一月六日逝去
一月十三日学校葬

謹んで故幸田町立深溝小学校長鈴木政司先生の霊に申し上げます。新年交礼会の席上で、元氣におめでとを交しあつたのに旬日ならずして幽明境を異にして相見みえようとは、唯々哀悼痛情の情に堪えませ

ん。顧みまするに、身を育英に委ねられ天職として自ら安んずること三十年、昭和二十六年八月末、たまたま深溝小学校長を拝命されると直ぐに住居を海谷に移し、学校と家庭との密接な連絡こそ教育伸展の第一要素とPTAの研究に力め、先ず校区内の教育環境を整え、越えて二十八、二十九両年度に渡り最も我が意を得た専攻科目図工の研究に専念し、指定校として温着を傾け日夜職員を励まして子弟の教養に精進し鮮かな成果を収め、稀に見る斯道の権威として県教育界に貢献し、本年更に進んで新生活運動に呼応し、心の糧として生活記録を主旨に作文を選び、冬休を利用してその研究視察の途中、不慮の病禍にあい、五十一歳を一期として雄途空しく逆旅に不帰の客と

なられ、返す返すも遺憾の極み。

又一方社会教育においても赴任以來深溝分館の主事を兼ね、よく運営し、時間励行や会合の後任末等々他の分館に範を示し、特に本館の視聴覚実験に協力して海谷部落に放送を設置し、本機を住宅において一切の責に任じ、社会教育委員、公民館運営審議会委員の職責を完全に果し、更に震災の痛手向いえぬ施設を充分に生かしてよく管理し、給食、防火の水不足も解消して町当局に認められ県下に偉容を誇る講堂を新築し、文字通り四年五ヶ月一日の如く精勵し本町は本校に先生あることを大きな徳として愈々真の明るい町つくりに一層の精進を望む秋、忽然として白玉楼中の人となられましたことは誠に教育界の損失であり、惜しみても惜しみて尚余りある次第で、警愕、寂寥、悲歎と嗚咽あるのみ。
あ、人生は短く事業は長し、世間では「人の死は人生の最後だ」と申しますが、先生の場合は死が不滅の御生活への継続であることを信じます。蓋し生前の垂訓は靈峯三ヶ根の

縁とその操を競い、その遺徳は天白の流れと共に脈々として尽きせぬ調べを奏でることでしょう。その精神を力綱として、自重自覚し本分を全うしますこそ先生に応えまつる唯一の道と存じ、恭しく御霊に誓つて、いつまでも深溝を深く御守り下さいませよう念願して、弔慰の詞といたします。

○ 弔 花
鈴かけの 旅衣かなし
木の葉とちりて 空なり
校区内は さみしい嗚咽
長へに 忘れざらめや
先生の みおしえ
生等とひとしく 心に銘記

増産百語

天地の大恩

お前たちもよく考えて見るがよい恩をうけてお礼をしない事も多くあるだろう。恵をうけて報いない事も少なくないだろう。恩徳に報いる事を知らない者は、将来のわが身の繁栄ばかりを願つて本をすてるから自然に幸福を失うのだ。よく恩徳に報いる者は、将来の栄えを後廻しにして前にうけた恩を思うから自然に幸福をうけて富貴がその身を離れない。凡そ報徳は、多くの行いのうち最も優れたものであり、あらゆる善い行

いの中の第一である。よく物事の根元をおし究めて見ればわかる。

我々の身体は、父母が生んで育ててくれたものだ。そのまた父母は祖父母が生んで育ててくれたものだ。更に祖父母の根元はその父母の丹精の結果だ。こういうように究めて行く時は、我々の根元は結局天地生々の徳に帰する。だから天地は大きな父母といふべきものであつて、これを元の父母ともいふ。余の歌に

「昨日より知らぬ明日なつかしや元の父母ましませばこそ」とよんだが、我も人もお互いに一日でも命長かれと願う心や惜しいと思う心は天下皆同じ事だ。それは明日も明後日も太陽が出て万世變るまいと思ふからである。もし明日から太陽が出ないときまつたらどうするかこの時は一切の私心も、執着も、惜しいほしもありようがないではないか。だから天恩の有難い事は誠にはつきりしているであろう。よくよく考えて見るがよい。

— 二宮尊徳翁の言葉 —



農業技術と諺

太田 銀蔵

昨年は、有史以来の大豊作と報ぜられていたが、局地的には思わぬ災害をうけて豊作饑饉の憂目に悩む農家も決して少なくない。

取入て俺は平均八俵半と喜ぶ人もあれば、五俵だとかこつ人もある。豊作は天候が支配するものなら、誰でも、どんな作り方をしても皆収量が上廻らなければならぬのに、或の人は多収で或る人は減収では、作物は決して天候に支配されるものではないと断言できる。

毎年、米作日本一の多収種共進会が開かれるが、いつも一二を争うのは香川県と長野県であることに大いに考へさせられる。即ち長野は高冷地で香川は暖地、長野は昼夜の温度較差大きく香川は小さい。長野は一毛田で香川は二毛田、長野は火山岩系で、香川は和泉砂岩系の水成岩で何を較べても稲作環境は正反対であるから、どちらかが稲の適地で一方が不適でなければならぬのに、毎年一二を争うのは何故か？

に追い越し、水稲も先進地、愛媛、滋賀、福岡を遙かに抜いて日本一になった。

又香川県では、試験場の農事研究会々員に限られている処に作物は気候や土質よりも、更に大切なものは農民の頭の問題であり、国土開拓の余地少きに反し、農民の頭の開拓には考へるべき余地甚だ多しだ。この開拓で食糧の自給も、豊作も必ず解決できると思へる。

昨年豊作であつた人は、今までの苦心改良の技術や体験に裏付けられ今後もぐんぐん頭の開拓を望むが、最近の農業技術でなければ取れないという事はない。昔ながらに合理的な事柄も随分ある。よく専門家がこれは不合理だからと改善したが、改善になる場合もしばしばある。故に充分に研究を重ねて基礎調査をし誤らない改善が望ましい。そして一歩一歩、頭の開拓をして多収種に努力していただきたい。

昭和三十年度各種作物品種比較試験成績表

幸田町立研究農場

○甘藷			
品種名	坪当収量	反収	摘要
國	三、七〇	一、二六	食用、飼料用
ちはや	三、〇〇	九八	食用
(関東三号)	三、〇〇	六八	食用
農林一号	三、三〇	六六	食用
岐阜一号	二、七五	八五	飼料用
○青田作りの米とらず。草できばかりで収量はなし。			
○彼岸すぎでの麦の肥。}			
○土用すぎでの稲の肥。}			
○灰がなければ豆まくな。加里必要			
○稲は土で作れ。(地力)が収量			
○麦は肥で作れ。(肥料)支配			
○作人上田。作人により下田も上田			
○主の足跡は肥。管理の必要			
○男の春耕秋稔る。深耕の必要			
○千駄の肥より一時の蒔き時			
○ばかでも総領。適地播種の要			
○肥より鎌。除草中耕肥料以上			
○苗代半作。良苗の必要			
○山が里へ下りると田が肥る。			
○野山の草を田に入れると上作			
○下駄履で畝に入ると虫がつく。			
○土のしまるのをきらう。			
○石も三年に一度は小便する。			
○石礫も栽培上有効である。			
○水稲			
品種名	坪当生収	反当収量	摘要
東海千本	五〇〇	二、六四九	多上田向
豊千本	三五〇	一、八五〇	右同
千本優	五八一	三、〇七九	九多田向
かをり	四〇五	二、一四九	二中田向
東海晩生	五三五	二、八二九	三右同
酒米白菊	四四〇	二、三二九	三右同
新山吹	五一〇	二、六九八	三多田向
みほ	四一〇	二、一六八	三中田向
東海四号	四八〇	二、五三九	八多田向
邦	二九〇	一、五三九	一多田向
黄金錦	五八五	三、〇九八	三多田向
綾	五四五	二、八八八	三多田向
はつしも	五〇〇	二、六四九	六中田向
金南風	六二〇	三、二七八	三多田向
早生秀峰	五八五	三、〇九八	三多田向
○大豆			
品種名	坪当収量	反当収量	摘要
安	三〇〇	二、二五五	長中田向
津	三〇〇	二、二五五	長中田向
銀	三〇〇	二、二五五	長中田向
玉	三〇〇	二、二五五	長中田向
知	三〇〇	二、二五五	長中田向
南	三〇〇	二、二五五	長中田向
神	三〇〇	二、二五五	長中田向
久	三〇〇	二、二五五	長中田向
福	三〇〇	二、二五五	長中田向

昭和三十一年二月八日

THE KODATYŌ KŌHŌ

(水曜日) (4)

Table with 11 columns and 4 rows of numbers and symbols, likely representing a grid or index for names.

越高岩永長稲鈴小岩村山長岩齊伊市早三越浅星夏内児辻柴酒清沢塩成石鈴本加柳太山鴨羽山鴨 村村杉山小中

永越大永長稲鈴小岩村山長岩齊伊市早三越浅星夏内児辻柴酒清沢塩成石鈴本加柳太山鴨羽山鴨 村村杉山小中

鶴志柴夏小稲 市三今 鈴神山中 大古児加 山山山 加稲 城小竹三石小都 石原 都足清山伊 浅吉杉平山

高山大長春 竹鈴三 小杉杉近池 加石真 鳥平 高稲 唐本筒小鈴鈴鴨都 志 近杉春吉尾 井小桑柴小

越山イヨ子 稲吉マサ子 野星岩川百 山本 鶴伊齊 吉鶴加 山杉山 福山 池藤永 成石 小 山吉羽根香 平小浅

計 409 右 男 131 女 278 (220) 昭和三十一年一月十五日

佐田宮大鈴入白安古仲吉伊望下嵩佐秋青近古牧山上中祭竹川笠若小二林伊松太深 野村下久木目井藤市井川藤月平村野山柳藤川野田野村倉内平井林野侯 奈井田沢

幸田町成人者名簿(第八回)

昭和三十一年一月十六日 幸田町民館長 本多伴吉

幸田町民館長 本多伴吉



郷土史料 (その六十)

俗信 (一)

志賀 又郎

風水害、悪疫流行、戦争、盗難、交通事故、生活苦等と幾多の災害を想像する時は、平穩無事の日でも不安の潜在するを感じ、過去の怖い体験は、我々に再び出あつてはならない危難を思わせます。昔の賢人はこれらに対していろ／＼な方法で排除しながら今日まで来ました。俗信も亦その一方法に他ならない。

けれども、その多くは迷信に属することが明白である。しかし農耕や気象に関する祈願、僻難、駆除法など、推理の加えられた智的行爲もなきにしもあらずです。

町内近郊、俗信の程度は地域の関係も多少あるが、主にその宗教上の宗派に關係するものが多い。即ち浄土宗、禅宗、天台宗、真言宗、日蓮宗の信徒間に比較的多く、真宗信徒に少いのは、その教化の程度の相違でしょう。

何れも科学的論拠はないが、警戒教訓、慰安等の意味を含むものが多いのは見逃すことのできないところで、一の儀式として織り込まれてい

るものさえ処によつてはあり得る。

しかし一般に教育の普及により、その跡を減しつゝあるのは文化の余沢と申しましようか当然のこと、殊に病氣に關するものに至つては、全くその跡を絶つものが多い。故に弊は除き、美風は保全し、以て文化人の責務を果すべきである。参考としてその一部を採録しよう。

一、気象に關するもの

○甲子の日に雨が降り始めると六十日ふり続く。

○千鳥が陸上に飛んで来ると暴風雨の兆。

○蜂が草木の根の近くに巢を営めばその年に暴風雨が多い。

○葦の葉に皺の多い年は暴風雨が多い。尚その葉を十二等分して、元から数えると暴風雨襲来の月を知ることができる。

○寒三十日の天候は、一年の天候の前兆だ。

○節分の豆十二個を十二カ月にたとえ、之を焼いて黒く焼けると雨が多い月、白いと雨が少い月だ。

○蛇が木を登り、鳥が水を浴び、水中の魚が騒ぎ、雨蛙がなく時は雨ふりの前兆。

○五月二十六夜の月は三尊の姿となつて山の端を上る。二十六夜待ちといつてこの月を拝む者がある。

○日暈、月暈が現われる時は三日の内に雨がふる。

○朝虹が現われると当日雨になる。

○夕虹は翌日晴天。

○夜明から日出までに遠雷が鳴れば当日の内に大天災がある。

○音の割合近く聞えるは雨が近い。

○雷がならぬと梅雨がはれぬ。

○四つ()の晴は一時の晴れで天氣にならぬ。

○三ヶ月の形仰なれば早り、伏なれば雨ふる。

○子供がさわくと明日は雨。

○山が近く見えると雨が近い。

人口動態 (12月分)

		累計	
出生	22	{男 10 女 12}	292 {138 154}
死亡	7	{男 3 女 4}	118 {53 65}
死産	0		1
婚姻	3		106
離婚	1		4

業学一体 =働きながら学ぶ=

勤労青年諸子

せひ

愛知県立蒲郡高等学校
幸田分校
農業科・家庭科
(4ヶ年) (2ヶ年)

就学のお知らせ

来る4月1日各小学校へ	就学する該当者は	生まれから	生まれまで	計
昭和24年4月2日生	昭和24年4月1日生	計		
男	30	22	52	
女	30	22	52	
校崎	80	47	127	
坂幸	47	35	82	
萩深	43	41	84	
豊	46	45	91	
合計	246	190	436	

◎成人だより

- 一、愛知県成人式額田郡代表(十四日)
- 新田 本多 進 六栗 越山いし
- 二、表 彰 1健康優良
- 逆川 稲吉輝夫 海谷 鈴木 登
- 幸田 児玉芳子 大草山下ユキ子
- 三、菱 松下ます 三菱長田今朝子
- 2 体育(スポーツバツテテスト)
- 上級合格者)
- 高力 内田俊彦 岩堀 鈴木美郎
- 幸田 山田好子 高力 藤井淑子

皆さんの希望に従つて教育を実施しております

分館だより

野場分館長 杉浦弥重

研究会の謝辞と抱負

合併前は、指定分館研究発表会のほかに、分館巡りで分館会議を兼ねた運営研究が行われていた...

もとより何等特長もないが昨年研究の野場の今昔をスライドにより紹介し、小なりと雖も地域内で自足し...

打算的な考えの人からは、公民館活動は生産に直結しないで経費の食い潰しで、インテリが存在が癪に障るようだが、大きな誤解だ...

整し行財政の豊乏に従い円満な完全発達されるよう公平和合で行かねばならない。

全国、六つの優れたモデル町村である誇りを保持する我々の町だ。立派な上にも一層良くせねばならぬ。

分け登る麓の道を極むれば

とぼね峠の眺め麗わし

あゝ何たる美しい十方峰の鳥瞰図よ グレート幸田の大景観!

分館だより 二 萩分館

とぼね五十号記念俳句大会

開館以来終始俳句の研究を続けて来たが、今回句集とぼね五十号発刊を機会に研究発表を兼ねて、左記により俳句大会を催し、広く各分館の協賛投稿を歓迎します。

記

一、日時 三月二十五日(日) 十時

二、会場 萩 分館

三、兼題 暖か 梅 蛸野 各二句

二月末日ノ切 児玉吉次宛

四、選者 呆人 泉 豈史 皿秋等

煙浪 桂堂の各先生外

五、表彰 選者別三光、一〜一五位

六、席題 当日委員会者互選十位まで

七、附記 詳細児玉吉次宛照会のこと

第四十八回句会報

風に扇の丸みに手綱かけ 桂子
海日射す切干棚や知多の里
病む母のあまりに早き冬の暮 青峯
歳晚や夜なべの妻に鳴る時計
風やガラスに映し絵を画く子 荻雨
どぶろくも仕込みて年を待つばかり
風にころげこむよに僧侶来る 句路
尾の曲り確かめ大根漬けてゆく
千大根ねじれて乾く五六本 草月
木枯に電線夜も鳴りつゞけ
芽麦踏む女は都会憧れず 瀬頌
寒月に照らし出されてテレビ塔
陰寒く千両の紅地にこぼれ 宗風
老牛の日向に眠る小春かな
風に地蔵の堂の包まれて 幸百
飛行場にやがてなる畑とんぼ舞い
小足早や廻る拍子木師走風 隆句
千大根真直ぐに伸びてすぎ通り

火の用心

ゆだんのすきまを

火がねらう

新春雑感 二 焼酎生

暖冬と思われた冬も、新年から物凄く寒さで、毎朝の霜に半日は畑の耕作不能。皆鋤録を手に山林へ。午後はテラホラ麦げずりの人影。当地は昨年来果樹研究熱旺盛で一握千金を夢見て、多額の資本を投じ拡張の一途にある。之が収入面を潤すには五、六年の歳月を要するが、それまで今の熱が続けばよいがと、寒風吹き荒ぶ果樹園を眺める。若き信念の人々よ。農山村桐山を護れ。

一月十六日は当寺院の一万辺講、浄土宗でも一万辺があるそうだが法華でもこゝ二十数年続いている。朝また暗い六時から午後二時半までの偉い行事だ。朝から通しの修業者は十指を数える程度、往年の花やかさと打つて変り、今では、お義理詣りが多い。

現世利益を標ぼうする新興宗教はいざ知らず、宗教は今や衰微の二字に尽きる。あの世の仏では、今の若人にはピンと来ず、法華のオミクジで買った競艇券が三万円も当たら信者も上昇するだろうが、今の処お寺の住職が、村への奉仕的信仰が第一であると思う。 以上

子どもの幸福のために

—高校の選び方と準備教育—

今回の公立高等学校の通学区改正によつて、学校を選ぶ自由も広くなつたので、どの高校に進学させるかについて、色々考えておられる方もあるでしょう。

高校には、普通課程や工業、商業、農業、水産、家庭技芸等家庭の職業課程もあり、また働きながら学ぶ、定時制の課程もあります。親としては子供の将来の幸福を願つて進学させる高校をどれにするかを考えるのは当然のことですが、それはどこまで子どもの側に立つて考えるべきで親の希望や見栄から、たゞ無闇に普通課程を志願させたり、またいわゆる有名校を憧れて進学させようというようなことは、なるべくさけるようにしたいものです。要は自分の子どもの特性や能力や健康や通学距離の関係なども考え、適当な高校を選ぶことが必要であります。

学校を選ぶに当つては、子どもの希望をよく聞いて、その自主的な考えを尊重することが大切です。それと同時に学校の先生ともよく相談することが必要です。中学校では生徒の特性や能力をよく調査し、その進路について心を配つて指導に當つて

いますから、親子の希望を打あけて適当な批判と指導をうけましょう。むりをして子どもの健康を損ねたり学習意欲をなくしたりする原因を作らないよう経験に富んだ先生の言に耳を傾けましょう。

高校入学の選抜については、県教育委員会が問題を作り、中学全教科を正しく理解しているか否かを目標に出題します。検査時間もむりのない時間であり、学力検査成績と中学校の報告書とを同等にみて入学者を決定することになっていきますから、

中学校正規の授業の外に、試験準備教育をさせて、試験問題集の暗記や練習で俄作りの力は全く不要です。即ち中学校の正しい教育を受けていることが進学のためにも就職のためにも最もよい準備となると考えます

一方入学状況を見ると、学校によつて多少の相違はありますが、県全体としては八割前後が公立高校に入学できたのであり、また志願締切後の志願変更もでき、本年に限り旧学区からの入学を容易にするような調整を行うことになっています。

以上の状況ですから、徒らに進学のための学力検査対策に走らず、落つきのある健康で明るい人を作るよう父兄方の協力をお願いします。

幸田町文芸部狂俳新年巻

種原弄月選

人位 俺が町 布く善政に人和せる 十四子

地位 匂わす白粉 塗下駄の素足が白い 源水

天位 若 ぼのぼのと神の井明ける 鬼童

田中花酔選

人位 俺が町 モデル幸田で謳われる 可笑

地位 尻に帆 後と白波といかり巻く 司好

天位 若 神の井汲めば鶏謳ふ 夢香

近藤楓山選

人位 今年こそ 我が生涯に花添へる 通人

地位 何喰ぬ顔 昼は互に事務を執る、若松

天位 春 隣り 榮転の地へ妻迎ふ 雅山堂

石川雅好選

人位 俺が町 新生活の範示す 波文

地位 勝 達引惚れに自鏡焚く 楓山

天位 若 千木透けて神泉清い 花雪

倉内一葉選

人位 俺が町 健康懐と世に光る 紫水

地位 匂わす白粉 廊仕込の妻若い 遊歩

天位 若 神の井に柏手が響く 雅好

長谷鬼童選

人位 尻に帆 豊漁して李ライン逃る 人外

地位 サツパリ 彼の女の変化球打てぬ 一葉

天位 春 隣り ゴルフ倶楽部が人屈ふ 紫水

各題通り句

ハ 配給のルート明るし年始め 美篁

若 千木透けて神泉清い 花雪

匂わす白粉 返り咲いた後家若い 司好

今年こそ 意義ある生の一步踏む 洞春

ト デシヤン 赤き火に集る虫酔わす 紫水

俺が町 大工場も駅もある 雅好

勝 断然依頼心持たぬ 椀笠

尻に帆 紋り粕おさらば決める 草月

サツパリ 豊替して春迎ふ 雅好

エ、調子 踊るマンボの足揃ふ 司好

何喰わぬ顔 亭主に汚れ白搦かす 夢香

春 隣り 一章既に大地割る 一葉

婦人のページ

○幸婦協だより

山本 秋子

新年早々、本宿郊外学園と御津町海の家慰問のお餅一切運動は、皆様方の御理解で餅約五俵分と金七百五十円、蜜柑三百匁、林檎五個、鯛三十枚、菓子少々、帳面、風呂敷各一点等色々心尽しの贈物を、去月四日役員の手で各御届しましたが、どちらも園長始め子供達大喜びで婦人会員の皆々様によろしくとの伝言でしたので、広報紙上で略儀ながら、衷心御協力を厚く御礼申し上げます。又同時に御願いました愛知県地域婦人団体の救済事業にも、尊い金二万七千八百円也の多額を早速郡を通じて県連へ送りました。

重ね重ねの御協力の数々、役員一同心から御礼申し上げます。今後共何かとよろしく御願ひ申し上げて御報告を終ります。

○礼状

今年度も又沢山な送り物をありがたうございました。学園の生徒皆に代つてお礼をいいます。本当に毎年毎年沢山お礼をいいます。婦人会の皆様方によろしく。私達は先生方の言いつけをよく守りきつと良い子になります。

名古屋市内本宿郊外学園
生徒会役員 佐藤 信子

○東 すみ子

来年は、来年はとて暮れにけり。で、また新春を迎えました。

今年にはサル年、大いに見たり、開いたり、しゃべつたりして、生活にじっくり結びついたレクリエーション活動を推進したいものです。

余暇だけを楽しむというのでは、ほんとうのレクリエーションではないと思います。

生活改善発表会の結果から

一年間の生活改善活動のしめくくりとも言える昭和三〇年度の町及び郡の発表会も好成績裡に終了発表者の皆様の御協力に深く敬意を表します

一体に生活改善の問題の一つ一つは実に些細なつまらない事のように考えられ勝ちですし、又そのもの一つを取り上げてみれば何でもない事のように思われるかも知れませんがこれは丁度練瓦を積み上げるとき足下から一段又一段とかため始めて目的とするものが出来るようにどんな些細なことでも毎日のくらしの中に創意工夫を又よい生活技術を積み上げて私共が望むところの生活を築き上げなければならないのではないかと

かと思ひます。

近年の発表会を眺めてみますと何れも「グループ活動によつて問題を解決しているもの」即ち小人数の集りではあつても同じ課題を持つた人達が協力し討議し合つてよりよい改善をしたという社会性のある活動方法が高く評価され、生活改善は一人であきらめるのではなく改善問題をみんなが持寄り同じ問題を持つていけるもの同志が協力体制を確立して解決に努力すべきである事を示しております。

今年度は幸田から県代表を送る事ができませんでしたが発表者の方々が個々の生活に於て好成績を上げておられる事は充分に認められ今後の幸田町の生活改善活動を大いに期待されておりますのでより一層頑張つていたゞきたいと思ひます。

生活改良普及員 井戸田

繊維製品お買物の時には

雨 路 子

私達の日常生活に欠くことのできない繊維製品は、戦後の急速な発達もあつて、漸く市場に大量の製品が出廻るようになりました。

しかし繊維製品には、その品質が

極めて複雑であるばかりでなく、一度織られてしまうと、素人には品質が見きわめ難いという難点があります。その品質表示については、昭和二十四年頃から、一般消費者の世論として法律で決めて全製品の品質が一目で判るようにはしいとの声があり、当時は粗悪な化学繊維に悩まされていた消費者の切実な声であつたが、化学繊維の発達は、製品の合理的な使用という面、また化学繊維の育成のためにも、正確な数字を明示して欲しいとの要望になり、又各業者間でも不正取引を防止する意味からも品質表示については熱心になり、「繊維製品品質表示法」という法令として十一月十四日から実施されました。

今の処任意表示になつてはいるがそれは表示しなくても良いというのではなく、表示の具体的な方法が任意であるというのであるから店主は正確な品質を消費者に示す義務はあるわけでありませぬ。

この法令の施行によつて、消費者は安心して、合理的な繊維製品の選び方ができるようになりました。お買物の時は表示に御注意下さい。